



「地域の人たちとのつながりが大切」。地元との信頼関係構築を重要視し、きめ細やかなサービスを提供するほか、空き家対策についても問題解消へ向けた事業を思い描く。

志賀塗装は2001（平成

13）年までは法人向け事業を展開し、主に大手ゼネコンの下請け事業で収益を上げてきたが、1999年ごろから徐

志賀塗装（いわき）

志賀 晶文社長（44）

々に仕事が増少。「当時はやむなく住宅リフォーム業を始めた」という。

個人向けの事業を開始し、開示されている情報が少ない塗装業界への信頼の薄さを実



「地域とのつながりが重要」と話す
志賀さん

しが・まさふみ いわき市出身。関西大社会学部卒。1995年に入社し、営業業務に従事、2011年から社長。

感じた。きめ細やかな説明を心がけることを大切に感じるようになった。現在は会員制のアフターサービスを設け、1人暮らしの高齢者らをフォロー。塗装に限らず清掃などの軽作業も請け負う。

東日本大震災が発生した11年、社長に就任した後、地域振興に向けた取り組みを加速させている。「愛するいわきの振興に向け、何ができるか」。今は全国的に問題

になっている空き家対策へ向けた事業展開も展望している。

きめ細やかさ心がけ